

財務諸表作成 基本問題

次の決算整理事項にもとづいて、答案用紙の財務諸表を完成させなさい。
ただし、会計期間は×4年1月1日から×4年12月31日までの1年である。

【資料1】

決算整理前残高試算表

借 方	勘 定 科 目	貸 方
464,000	現 金	
778,000	当 座 預 金	
965,000	売 掛 金	
173,000	繰 越 商 品	
500,000	備 品	
660,000	土 地	
	買 掛 金	900,000
	仮 受 金	25,000
	借 入 金	250,000
	貸 倒 引 当 金	25,000
	備品減価償却累計額	180,000
	資 本 金	980,000
	売 上	6,400,000
4,200,000	仕 入	
890,000	給 料	
2,000	消 耗 品 費	
120,000	水 道 光 熱 費	
8,000	支 払 利 息	
8,760,000		8,760,000

【資料2】決算整理事項

- 1、仮受金 ¥25,000 は出張中の社員からの当座振込みであったが、帰店後得意先からの売掛金の回収額であることが判明した。
- 2、売掛金の期末残高に対して、3%の貸倒れを見積もる。引当金の設定は差額補充法による。
- 3、消耗品の期末未消費高は ¥1,500 である。
- 4、期末商品棚卸高は ¥25,000 である。
- 5、備品について定額法により減価償却を行う。ただし、残存価額は取得原価の10%、耐用年数は10年とする。
- 6、借入金は、×4年8月1日に年2.4%で借り入れたものであり、決算にあたって利息の未払分を計上する。

財務諸表作成 基本問題 解答用紙

貸借対照表

×4年12月31日

(単位：円)

現金	()	買掛金	()
当座預金	()	借入金	()
売掛金 ()		未払費用	()
() () ()		資本金	()
商品	()	当期純 ()	()
() ()			
備品 ()			
減価償却累計額 () ()			
土地	()		
() ()			
			()

損益計算書

×4年1月1日から×4年12月31日まで

(単位：円)

売上原価	()	売上高	()
給料	()		
貸倒引当金繰入	()		
減価償却費	()		
消耗品費	()		
水道光熱費	()		
支払利息	()		
当期純 ()	()		
() ()			
			()

財務諸表作成 基本問題 解答

貸借対照表

×4年12月31日

(単位：円)

現金	(464,000)	買掛金	(900,000)
当座預金	(778,000)	借入金	(250,000)
売掛金 (940,000)		未払費用	(2,500)
(貸倒引当金) (28,200)	(911,800)	資本金	(980,000)
商品 (25,000)		当期純(利益)	(982,800)
(消耗品) (1,500)			
備品 (500,000)			
減価償却累計額 (225,000)	(275,000)		
土地 (660,000)			
	(3,115,300)		(3,115,300)

損益計算書

×4年1月1日から×4年12月31日まで

(単位：円)

売上原価	(4,348,000)	売上高	(6,400,000)
給料	(890,000)		
貸倒引当金繰入	(3,200)		
減価償却費	(45,000)		
消耗品費	(500)		
水道光熱費	(120,000)		
支払利息	(10,500)		
当期純(利益)	(982,800)		
	(6,400,000)		(6,400,000)

仕訳

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1、(借方)仮受金 25,000 | (貸方)売掛金 25,000 |
| 2、(借方)貸倒引当金繰入 3,200 | (貸方)貸倒引当金 3,200 |
| 3、(借方)消耗品 1,500 | (貸方)消耗品費 1,500 |
| 4、(借方)仕入 173,000 | (貸方)繰越商品 173,000 |
| (借方)繰越商品 25,000 | (貸方)仕入 25,000 |
| 5、(借方)減価償却費 45,000 | (貸方)減価償却累計額 45,000 |
| 6、(借方)支払利息 2,500 | (貸方)未払利息 2,500 |